



コミュニティ組織と地区社会福祉協議会の一体化へ —— 地域が一つになって福祉活動を進める ——

地域福祉を地域全体ですすめるために、コミュニティ 日立市社会福祉協議会からコミュニティ推進協議会への組織と地区（学区）社会福祉協議会の一体化に向けて、説明会が、昨年9月と10月に実施されました。

この説明会では、会長の一人制や組織の一体化などの方向性が示されました。平成19年総会終了時からは、地区（学区）社会福祉協議会会長は、コミュニティ組織の会長が担うことが、昨年10月のコミュニティ推進協議会の臨時会長会議で了承されました。

また、現在の地区社協組織をコミュニティ組織の専門委員会や専門部等に移管、または名称を残して運営する方法など具体的な進め方も提案されております。今後、2つの組織で十分検討し、組織の位置づけや会則の変更、役員・事務局体制などが、平成20年総会までに決定することになりました。

一体化への経緯

平成18年8月11日付けで、地区（学区）社会福祉協議会とコミュニティ組織の一体化（統合）計画が、日立市社会福祉協議会基盤強化協議会から日立市社会福祉協議会長に答申されました。

交流センター2館の増改築中

平成18年度中の完成を目指して、塙山と諏訪交流センター2館の事務所やホールの増改築が行われています。

塙山交流センターは昭和59年に日立市のコミュニティセンター1号館として、また昭和62年に諏訪コミュニティセンターが2号館として建設されました。

この答申を受け日立市社会福祉協議会は、コミュニティ組織に「組織の一体化に向けた基本理念」と「地区社会福祉協議会モデル的組織体制づくりの考え方」を基本に、会長の一人制と併せ、現在の地区社協組織をコミュニティ組織の専門委員会や専門部等に移管することとしました。

市民にわかりやすい組織体制へ

平成11年度に市および日立市社会福祉協議会の方針によって、小学



塙山木曜サロンで遠足へ

校区や地区をエリアにした地区（学区）社会福祉協議会が設置され、事務局体制が整ったことで地域福祉の活動が大きく前進してきました。

このため、地域全体で福祉事業を進めるために、コミュニティ組織との一体化を図ることになりました。これまでの歴史や形態にとらわれることなく、行政、コミュニティ、民生児童委員協議会などと連携・協働し、地域福祉を進める団体として、市民にわかりやすい総合的な組織体制を確立することとなります。

また、活動拠点施設の充実強化も図られることになりました。



諏訪学区敬老会

モデル的組織体制づくり

現在の地区（学区）社協の組織体制は、地域それぞれの特性を活かしたのですが、複雑なものとなっています。このため組織の一体化に向けては、混乱を避けるため、運営や活動に必要な細部については、経過措置を設けて段階的に移行することとなっています。

ねんりんピック茨城2007

日立市で2種目の開催

今年11月に第20回全国健康福祉祭いばらき（ねんりんピック）が県内各地で開催されます。

日立市では卓球とターゲットボードゴルフの2種目が開催され、コミュニティ推進協議会でも協力、支援することになります。

全国から参加する役員や選手の心に残る大会にしたいものです。開催日は11月10日～12日、会場は卓球：市民運動公園中央体育館、ターゲットボードゴルフ：河原子海岸北浜ターゲットボードゴルフ場（現在建設中）

情報をネットでつなぐ コミュニティ活動

ホームページを開けて活動情報を発信しているコミュニティが増えています。現在までに塙山学区、日高学区、会瀬学区に続いて金沢学区がホームページを立ち上

げています。それぞれコミュニティの組織やプラン、活動の様子、交流センターの情報などを中心に学区の特徴を出してホームページを作成しています。

維持費はほとんどゼロ

日立市の交流センターはJwayを利用してインターネットをつないでいるので、ホームページは安価なソフトがあれば無料で簡単に開設できます。維持費もかかりません。ページの作成、更新は4学区とも少人数で行っています。ページに書き込まれた情報は何時でも世界中のどこからでも自由に見ることができます。それに対する意見や感想を即座に受け取ることができます。4学区の担当者に聞くとふるさとを遠く離れた人から感想などが届くと嬉しいというこ

とです。他コミュニティの活動情報を得られることも自らの活動の刺激になるとのことです。ただし、写真を使った活動情報は大変有効なのですが、個人情報に絡んだプライバシーの問題で、個人の顔が写った写真の扱いが難しいとの声もありました。

おもしろ地域情報も発信

日高学区ではコミュニティの役員と交流センターの職員でホームページ委員会を発足し、運営に当たっています。コミュニティ活動や学区内の団体の活動情報を、週1~2回のペースで更新するほか、「日立紅寒桜」や「交流センターの四季」などと題したユニークなコーナーを設け、地域の様々な情報を発信し、地域の総合情報案内を目指し、各方面から楽しまれています。

ホームページは、掲載写真についているアドレスからつながりますが、市のホームページからも簡単につながります。ぜひ、覗いてみましょう。

まだ開設していない学区で、ホームページを開けたいと考えているコミュニティは多くあるので、市民活動課はそれらを支援するため、予算要望をしていく一方、コミュニティ推進協議会としても、自ら、19年度の事業計画にホームページの開



金沢
<http://www.net1.jway.ne.jp/c-kanesa/>



日高
<http://www.net1.jway.ne.jp/hitaka-com/>

ホームページの立ち上げに応援団

現在、開設されている4学区のホ

設を掲げていきます。さらに、ひたち生き生き百年塾では、ホームページの立ち上げを応援するセミナーの開設を用意しています。

コミュニティ推進会を対象にホームページセミナーを開催

百年塾では、各学区コミュニティ組織のホームページを開けようと考えているコミュニティ推進会(単会)の支援をします。ホームページ開設によって、自分たちの学区コミュニティの活動を多くの人に紹介する機会になります。一緒に手がけてみませんか?

百年塾情報部会ホームページ委員会委員を中心に百年塾推進委員が講師を務めます。希望する単会は百年塾サロンへご連絡ください。(TEL23-9165)

3月からスタートします。日時や会場等は後日連絡します。



会瀬
<http://www.net1.jway.ne.jp/com-ose06/>



塙山
<http://www.net1.jway.ne.jp/hanayama/>

再生資源の回収にご協力を!

皆さんが協力している再生資源の回収は学区コミュニティ推進会の活動資金になっています。最近、自宅

前に出して置くだけで業者が回収してくれるので便利という声もありますが、日立市の再生資源回収にご協力をお願いします。

日立市コミュニティ推進協議会

学校や幼稚園などと共に

学区コミュニティと学校や幼稚園、保育園などとのさりげない連携や協働で、新たな視点での活動も加わり、それぞれの活動を豊かにしています。

中学生の自主性を育む

仲町学区

仲町学区コミュニティ推進会の清掃活動は、通学路、宮田川、交流センター周辺除草作業など数多く実施



清掃活動する生徒たち

されています。

この清掃作業に平沢中学校の生徒が自主的に参加し、地域の人たちと一緒に活動しています。この中学校の校訓「自ら考え」「自ら感じ」「自ら行う」のもとに、ボランティア活動に積極的に取り組んでおり、毎回生徒の参加率は90%から95%と高い数字を残しています。

また、敬老会・文化祭・防災訓練・歩く会などにも積極的に参加している姿が駒王中学校にも広がり、最近では駒王中の生徒も自主的に参加するようになってきました。

古河利孝会長は、平沢中学校の道徳教育の一環として“ボランティア

とは何か”と題した講演も行っており、「中学生のこの活動が引き継がれることを願い、学校と地域の連携を続けていきたい」と話しています。

幼稚園児のごみ拾いを支援

中小路学区

“この活動が大きな輪となってまち全体がきれいになれば”と、中小路幼稚園の園児たちが、中小路学区コミュニティ推進会のメンバーと保護者の協力を得て、けやき通りの清掃活動を行いました。

県が推進するさわやかマナーアップキャンペーンの一環の事業と、自分たちの住まちをきれいにする気



ゴミを拾う園児たち

持ちを学ぶ場として実施されました。

交通量の多いけやき通りで安全に清掃できるように保護者とコミュニティ推進会の人たちに見守られながら、園児たちは様々なことに驚き、楽しみながら植え込みの中や歩道に

落ちていた空き缶・ごみなどを拾い集めました。持ち帰ったごみは種類別に分類して捨てることまで教えてもらいました。今後も地域の人たちと協力しながら継続していきたいと桜井恭子園長は話していました。

給食で感謝の会食会

会瀬学区

12月7日(木)、会瀬学区コミュニティ推進会の防犯パトロール隊の白土孝信代表をはじめ、17名のメンバーと、会瀬小学校2年生33名



ランチルームで交流会

の会食会が実施されました。

この会食会は登校・下校時の安全を毎日見守っている防犯パトロール隊への感謝の気持ちを表すと同時に、パトロール隊の人たちとの交流を通して、より一層安全への意識を深めるために行われたものです。参加した人からは、「これから寒くなる時期に、子どもたちとランチルームで給食を一緒に食べながら交流ができてうれしく思います。寒さに負けないでパトロールができます」などの感想が寄せられました。

青色パトで防犯活動

塙山学区でスタート

昨年12月6日、塙山学区で安全・安心のまちづくりのための青色パトロールカーによる防犯活動がスタートしました。

これまで塙山小学校、PTA、塙山学区住みよいまちをつくる会と一緒に「子どもを守る防犯パトロール隊」を結成、徒歩や軽トラック、バイク隊による活動を続けてきましたが、より強力な犯罪抑止と長期化す



青パト導入で安全の充実

る防犯活動への対応策として青色パトの導入をしたものです。

青色パトロールカーの回転灯を点灯して運行する場合は、警察本部長が交付する「青色回転灯装備車」標章の表示と、「パトロール実施者証」

携行と1名以上の乗車が義務づけられています。塙山学区では守谷市、筑西市、高萩市で開催された青色防犯パトロール講習を26名が受講しました。

また、この青色回転灯証明申請を警察署に行くには、市町村長から防犯活動の委嘱を受けた団体であることが必要で、今回、日立市では、「青色回転灯証明申請に伴う委嘱」を希望する団体は、市に委嘱申請ができるようになりました。



コミュニティ推進協議会 単会リレー訪問

小学校区をエリアにコミュニティ活動をする組織が23あります。地域の特色を活かし住民と一緒に活動を続けています。今回は18年度に設立し新たな活動に挑戦する十王地区コミュニティ推進会を紹介します。

多くの団体やボランティアと共に

～十王地区コミュニティ推進会～

地区の特徴

十王地区は、楯形、山部、高原（平成19年3月閉校）の3つの小学校がある広域な地域です。十王地区コミュニティ推進会は18年度設立した1年生コミュニティです。

十王駅は、平成16年3月に川尻駅から名前が変わり、今は駅舎も新しくなりました。駅の東口には祭りが開催される大きな公園があり、西口には十王図書館があります。

十王地区は、ブナ原生林がある堅破山、十王ダム、桜の名所パノラマ公園、楽しみの多いJホール、地産地消の鶴来鶴来、温泉と言えば鶴来来の湯、白砂青松の海岸の北端には国指定天然記念物のイブキ樹叢、鮭の遡上する十王川など、自然が豊かで暮らしやすい地域です。



まつりは恒例の十王音頭

活動の現状

学区内を15支部に分け、自治会や町内会のこれまでの活動を尊重し、6つの専門部と実行委員会を設けて、旧十王町時代の事業継続も心がけ、各種団体と共に運営しています。

18年度内は十王地区社会福祉協

議会の設立準備を進めてきました。19年4月に設立します。

十王公民館は19年度に交流センターと名称や機能が変わります。更に、19年度から待望の新しい交流センター建設が始まります。



地域のために頑張るぞ！

盛り上がる事業

●十王まつり 多くの人が交流できる場となり、陰で支える人たちの苦労が実った事業でした。課題も見えてきて次年度に向け前向きな検討が始まっています。

●町民運動会 9チームで行い、天候に恵まれ大いに盛り上がりました。

●敬老会 各種団体からの様々な贈呈の品に加え、今年度は中学生も手作りのポップを贈り喜ばれました。

また、文化協会を中心とした演芸発表もあり、約750人の方が参加し、楽しんで頂きました。

資源物回収が日立方式に

何らかの資源物を可燃ゴミ集積所で毎週回収していた十王方式から、昨年10月から日立方式に変わりました。家庭には1ヶ月分の資源物が溜まり、集積所は遠くなったところ



心をこめて、手作りポップ

も多く、立ち当番もありますが、大きなトラブルもなく実施されています。

これから

十王地区は18年度にコミュニティ推進会を立上げ、19年度から地区社協が動き出し、地域管理となる交流センターへの変更も行われます。目まぐるしく変わる状況のなかで、



みんなで協力！

コミュニティは多くの活動団体やボランティアと共に一生懸命対応しています。うまくいく事もそうでない事も出てきていますが、これからコミュニティ活動の意味を確認しながら、住民自らが「住みよい明るいまちづくり」を目指して本音で語り合うことになるでしょう。

30年の活動実績を持つ22のコミュニティ活動を参考にし、暮らしやすい十王地域づくりのために多くの人が頑張っています。



会長 樫村 次男
事務局 十王公民館内
TEL 39-2411
世帯数 4,941戸
人口 13,960人
(平成19年1月1日現在)